

01 春の約束

Lyrics:Honoka / Music:Inami / Vocal:Honoka

夢を揺らしたの「行こうか」笑う君がそう掴んだあの日くれた 差し出された

振り解いた手 明日が怖かったから
ずっと慣れてきたことそれでいいと あの凍りつき止まる針が動いた瞬間

明日の風が 告げた光 今輝き出す
君がいれば 暖かい場所信じられる
流した涙もほら乾き 夢見た日迎えられると
進むだけ印された 約束はそこにあるから

歩き疲れ果て孤独に迷い込んでた
明日が見えなかったの

きっと同じ道のりなんかない
この道一つ進む 何か掴んだ気がした

明日の風に 白い吐息も解けていく
君がいれば 私らしい時見つけられる
抱き締めた笑顔まで 確かな言葉が届くようにと進むだけ印された
約束はそこにあるから

心がもう溢れないように そっと蓋をして
いつかまた芽吹くようにと 足跡に重ねすぎてたかな

歩き出すの 告げた光 もう輝くの
君といれば 暖かい場所信じられる
流した涙もほら乾き 夢見た日迎えられると
進むだけ印された 約束はそこにあるから
輝きは消えないでしょう

02 two lies

Lyrics:Honoka / Music:Inami / Vocal:Honoka

12時過ぎの君の着信 沈み始めた
出来る限りの笑顔で聞いた 不安を消したくて

よぎる曇りを振り払うよう縋り続けた
ついた溜息逸らした目線 君の本音だった
私だけ見てなんて言えたら 何か違った？
続ける理由探し続けた 信じたいから

抱き締めないでよ ごめん嘘だよ
涙も隠すしなくて
君のせいにした 言えなかったの
なんだか優しすぎたから
ねえ気づかないの届かないの すれ違うばかりなの
「君だけ」お決まりの合図も
そばに置いたウソの言葉 速くに離せなくて
あの夜も平気だからって強がるために

握りしめていた君の残り香 零れないように
やっと掴めた筈だったのに どうしてこんなにも
あの日素直に寄り添えてたら 何か変わった？
続ける理由探し続けた 信じたいから

抱き締めないでよ ごめん嘘だよ
涙も隠すしなくて
君のせいにした 言えなかったの
こんなに近くにいるのに
もう戻れないよ二人きりの 恋には戻れないよ
「信じて」寄せる眼差し
もう知りたくない知らない顔 あの子に見せる顔
伝う陰に眼を閉じた

抱き締めないでよ ごめん嘘だよ
涙も隠すしなくて
君のせいにした 言えなかったの
想い出滲むよ
ねえ気づかないの届かないの 一人きりの夜をもう
何度重ね過ごしただろう
そばに置いたウソの言葉 速くに離せなくて
あの夜も平気だからって強がるために

03 drop

Lyrics:Per / Music:Inami / Vocal:Honoka

熱めのシャワー ドアを開けた
濡れた花びら 朝陽が差したら

誰だって誰かに時にきつく優しく
抱きしめられたくって

雨はもう上がって午後の憂鬱な予定も
なんとかなるでしょ

drop 花はきらめいて 鮮やかな世界だ
幸せが溢れても 君にはあげないから

drop 今日は輝いて 美しい世界だ
幸せが溢れても 君にはあげないから

04 オレンジ

Lyrics:Per / Music:Inami / Vocal:Honoka

誰の声も 届かない
どこへ行くか 何するかも知らない
音のない世界 静かに
君だけを想う
ああ

何億光年 惑星を超えて
君を眺めていたけど
輝きのない僕にはオレンジ
君に見つかるよに

ここまで速くへ
この手を取って
ここにいるから
駆けつけて ねえ

そう君と僕で
架けるきつと広い暗闇を星で繋ごう
探し出して 見つかるのかな
救いのない僕ら愛のpower
届けたい

誰かの恋 飛び散り
星屑なって 天体を描(えが)くんだ
手を繋いで 眠った
君の温度だ
ああ

「会えない時が愛を育む」と
誰かから聞いたな でも
2mmの距離に寂しさ感じた
SFみたいだね

もう君と僕は
ずっと一緒だから止まらない歳もとらない
記憶がいつ 途切れてもまだ
救いのない僕ら愛のpower
離れない

今だって同じ二人は すれ違いの軌道だけど
引力に引かれ合わせて 幾度近づく
遥か未来で 重なる星なのかな

ここから速くへ
このままどうか
ここに浮かんで
二人きりで

そう君と僕は
ずっと一緒だから止まらない歳もとらない
記憶がいつ 途切れてもまだ
漂うだけお揃いのオレンジ
忘れない

忘れない
この想い

05 サヨナラノサクラ

Lyrics:Inami / Music:Inami / Vocal:Honoka

桜の花びら舞う青空の中君が
振り返ってみせた頬には一粒の涙

駆け出したよね 手を取ってくれたよね
忘れられない暖かさ伝わった

追いつきたい傍に居たいそう思えたから
モノクロの世界が色づき始めた君の笑顔で
「背が伸びたね」と言ってくれたね
俯くことがなくなったから
二人並び歩く道が続くと思っていた

色褪せた写真思い出は色鮮やかに
君が大人になれないと知った冬の夜

「まるで映画のようだ」とつぶやく君
握れなかった壊れそうだったから

君と歩く桜並木はもう見れないんだね
目を閉じると浮かぶ君の声、姿、記憶の欠片
一緒に見上げたあの夜空の流れ星に願いかけたよね
「いつまでも二人でずっと生きていけますように」

振り回される日々、そんな日常が今では愛しい
ひらひら桜の花びらが空に舞い上がる君のいない春

追いつきたい傍に居たいそう思えたから
モノクロの世界が色づき始めた君の笑顔で
一緒に見上げたあの夜空の流れ星に願いかけたよね
「生まれ変わってもまた二人巡り会えますように」

01 春の約束

02 two lies

03 drop

04 オレンジ

05 サヨナラノサクラ

06 転んだ

07 サヨナラノサクラ(piano ver)

06 転んだ

Lyrics:Per / Music:Inami / Vocal:Honoka

君を呼んで呼んで声が枯れても
背中向けて知らんぷりしてても
振り返ればいつもそこにいた君
愛していた

夕暮れ二人の影が すっと長く伸びもう行かなきゃ
目配せの角度でわかった あの頃にはもう戻れないこと

固まった心を溶かすのが私の役だったのにね

君を呼んで呼んで声が枯れても
背中向けて知らんぷりしてても
振り返ればいつもそこにいた君
愛していたずっとこのまま…

子どもみたい、遊びだったなんてさ そう思えない

不器用な距離の詰め方が 君らしさだったけれど
もどかしく感じてばかり ごめんね二人触れることなく

どこかでルールを間違えた私のせいだったのかな

君は立ち上がり前へ進んで
転んだのは弱い私だったな
冗談だよって繋いだ手をほどいて
愛していたずっとこのまま…

5時のベル、また明日なんてさ じゃあさようなら

Produced by Chemical Ginger Love

Music & Arrangement: Inami

Lyrics: Inami, Honoka, Per

Vocal: Honoka

Jacket Illustration: Ryoko Hayakaze

Art Director: Per

Designer: Ryoko Hayakaze

Recording & Mixing Studio: studio CGL